

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 6年 3月 4日

事業所名 トワエモア

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		身体を大きく動かせるスペースがある	・机上訓練時、衝立など周囲から情報を一時的に遮断できるものを検討。
	②	職員の配置数は適切である	7	1	十分に配置	保育士、児童支援員が常駐。4~7人の職員を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8			室内はバリアフリーになっている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		掃除、換気を行っている	広い活動スペースとスヌーズルームを用途に合わせて上手く活用している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	2	職員間で情報共有している	参画がない職員がいるため、今後は定期的に話し合いの場を設ける。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		個々に対応をしている	初めての実施なので、保護者からの意見を踏まえて改善を検討させていただきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		初年度の評価のため、今回より、システム内にて公開をします。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3		外部評価の機会がまだない。施設内で評価を行い、改善に努める。将来的には第三者による評価・改善につなげていきたい。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		定期的に様々な研修を実施している。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1	定期的に行われている	定期的にモニタリングやヒアリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			契約時に記入いただいている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			保護者からの要望を聞き取り、必要な項目を選択し、具体的に支援方法を検討している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		個々の「できる事」を見極め、工夫をし活動プログラムに取り入れている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	3	指導員で話し合いを行っている	現在は担当制のため支援員みんなで話し合い、全員が活動プログラムを作れるようになる。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		日々、違う活動プログラムが提案されている	発達段階や特性に合わせたうえで、みんなでできるように工夫している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	7			子どもの発達や特性に合わせることで保護者からの意見を踏まえて、組み合わせている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	席を外している職員は必ず声掛けをする	偏りが出ないように、毎日確認を行い、内容の確認担当振り分けを行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		勤務終了時間に違いがあるため、終業時ではないが、翌朝や気づいた時点で振り返りを行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	ケア記録内で詳しくお知らせ	ケア記録に個別目標に対しての日々の評価も含め、詳しく記入している。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			6ヶ月に一度のモニタリングを行い、ケース会議を経て、計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2		可能な限り参加し、事前にスタッフから聞き取りを行ったうえで児発管が参加している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1		定期的な電話連絡などで連携を図っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	1		現在医療的ケアが必要なお子様の利用がない。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	2		現在医療的ケアが必要なお子様の利用がない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			迎え時にそれぞれの場所での様子を確認し合い情報共有をしている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			小学校や特別支援学校との情報共有はできておらず、保護者を通して共有をしている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			現段階では連携がとれていないため、今後関わりを持っていけるよう検討したいと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある	3	4		訪問等はないが、公園や外活動時などで関わりが持 てるよう支援している。
	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の 子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1		
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っている	8		・システム内で伝 え合っている ・面談、送迎、電 話、メール、ケア 記録で伝えている	ケア記録内での報告、送迎時などに情報共有を行っ ている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対して家族支援プログラム（ペアレント・ トレーニング等）の支援を行っている	5	1		適宜、連絡を取り合って助言等を行っている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明 を行っている	8			契約締結時に説明している。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、 これに基づき作成された「児童発達支援計画」 を示しながら支援内容の説明を行い、保護者 から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対 する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	8		主に代表が相談 を受け行っている	気軽にご相談いただけるような雰囲気づくりを行って おり、適宜助言等を行っている。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	6		クリスマス会を 実施	イベント時に交流できる場を設けたが、子どもが楽しむ 場となってしまったため、定期的に保護者会を開催で きるように検討している。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応している	7			責任者や窓口を設けているが、苦情が出たことがない ため、現在の状況が続けられるように努める。万が一、 苦情が出た場合には迅速に対応することを心がける。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信している	6		インスタグラム、 手紙等で行ってい る	行事予定はお知らせしていたが活動概要等は発信し ていなかったため、次年度よりシステム内にてお知 らせしていきます。
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	8		丁寧に行っている	入社時のオリエンテーションや定期的な研修にて取り 扱いについての説明がある。
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	8		丁寧に行っている	システム内でのメッセージ、送迎時の申し送り、電話等 状況や内容により伝達方法を考え対応している。
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	5	2		関係機関や医療、保育分野の方々にご来所いただ いた。
	非 常 時	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施 している	8		役割分担をして行 うことができている

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
等 の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	7		役割分担をして行 うことができている	年2回訓練を実施。実際に避難場所までの経路確認 を行っています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の 子どもの状況を確認している	8		事前にまとめられ たものを参考にし ている	保護者からの聞き取り、アセスメントを確認している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	7	1	十分に注意してい る	保護者から確認をしている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している	7		共有できている	専用ファイルを作成。いつでも閲覧できるようにしてい る。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	7			定期的に研修を行い意識を高めている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、児童 発達支援計画に記載している	7			保護者へは契約時に説明、同意をいただいている。個 別支援計画にも記載し、説明。同意をいただいでい る。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。